

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年5月31日

1 事業名	健康づくり推進事業	コード	41301
-------	-----------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 健康推進課	作成者 百瀬ひろみ
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政 策	保健・医療の充実	施 策	健康づくりの推進
		予算科目	健康づくり推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	健康増進法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等 *対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要 （簡潔に）	生活習慣病予防をはじめ、健康に関する正しい知識や情報を提供するため、健康づくり講演会や運動講習会、イベントや各種教室、健康相談等を実施し、健康の保持増進のための啓発を行った。		
目的	対象者	市民	
	意 図	健康の保持・増進 健康寿命の延伸	

5 事業の実施内容 *25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

1. 健康づくり講演会：健康的な生活習慣の重要性に対し関心と理解を深め、健康づくりの実践ができるよう働きかけるため講演会を開催した。	①5月11日（土）「血糖値を上げない工夫 ～こんなに食べても500Kcal～」（株）タニタ 山下かほり氏）：230人参加		
	②6月15日（土）「日常ながら運動～無理せず楽に健康づくり～」（日常ながら運動推進協会代表 長野茂氏）：120人参加		
	③12月6日（金）「意外と知らない！！糖尿病の真実とは？」（相澤病院 山内恵史氏）：200人参加		
2. 心の健康づくり推進事業：うつ病の理解を深め早期支援等心の健康づくりを推進するため、講演会等を行った。	①10月26日（土）「リラックス気功」（天野美恵子氏）：85人参加		
	②12月19日（木）「こころのサポーター養成講座」（長野いのちの電話 西澤聖長氏）：120人参加		
	③対面相談事業：活動量計（ライフコーダ）による睡眠評価を行った。：25人実施		
3. 口腔衛生推進研修会	3月8日（土）「“健口長寿”は健康長寿を創る」（鶴見大学教授 鶴本 明久氏）：150人参加		
4. イベント・各種講座等	①あるき太郎ウォーキング事業「花回廊」：市民が気軽に健康づくりを始められるよう、横河川の花回廊をコースの一部としたウォーキングイベントを実施した。（4月20日（土）・700人参加）		
	②岡谷市民健康づくりのつどい：健康づくりの実践ができるよう、岡谷市健康づくりのつどい実行委員会とともに、イベントを開催した。（12月8日（日）・500人参加）		
	③いきいきママのヘルシー講座：1歳未満の乳児を持つ母親を対象とした講座（全6回）：延103人参加		
④その他の健康教育	・出前講座等健康教育：16回 342人参加		
	・介護保険証交付説明会での受診勧奨及び健康増進計画PR：12回 444人参加		
5. 健康相談：	一般健康相談（保健センター）：12回 7件		
	栄養相談（予約制・保健センター）：5回 5件		
	歯科相談（予約制・保健センター）：11回 20件		
	ダイヤル健康相談：387件		
	面接相談（随時）：100件		
	訪問相談：91件		
前年度の課題への対応	第2次岡谷市健康増進計画「概要版」により、計画の内容や、健康の保持増進のために必要な個人の取組みについて周知を行った。		

6 指標の達成状況 *活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区 分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）		
① 活動指標（指標名）	開催回数				単位	回
実績値			666	649		
* 指標の説明	各事業の開催回数の合計					
② 成果指標（指標名）	参加者数				単位	人
目標値			3,489	3,867	3,748	
実績値			3,867	3,629		
達成度	#DIV/0!		110.8%	93.8%		
* 指標の説明	各事業の参加者数の合計					
* 目標値の設定方法の説明	過去3年間の参加者数の平均					

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	0	9,976,633	4,242,194	3,631,000
経常経費		5,577,133	3,673,356	3,597,589
臨時的経費		4,399,500	568,838	33,411
* 臨時的経費の説明	心の健康づくり推進事業・AEDパッド交換費用			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	0	25,200,000	15,520,000	15,520,000
正規職員の人数(人)		3.15	1.94	1.94
③ 合計コスト(①+②)	0	35,176,633	19,762,194	19,151,000
前年度比		#DIV/0!	56.2%	96.9%
財源内訳				
一般財源	0	29,007,072	18,318,716	18,343,000
特定財源		6,169,561	1,443,478	808,000
* 特定財源の説明	各種受講料・健康増進事業県補助金・健康づくり推進事業県補助金			
④ 活動一単位あたりコスト	#DIV/0!	46,212	29,574	
前年度比		#DIV/0!	64.0%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0
	割合	#DIV/0!	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 93.8%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 93.8%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 健康行動の実践につなげるためには、一律の指導ではなく、個人の健康状態・健康に対する関心度・生活状態に応じた個別性のある指導が必要。	
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 「血管を守ろうプロジェクト」において、健康学習（講演会・講習会）の実施とあわせ、訪問や保健指導等による個別多能の強化を図る。	
改善方法		
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---